

NHIỀU TÁC GIẢ

KỶ YẾU HỘI THẢO QUỐC TẾ CHUYÊN NGÀNH GIẢNG DẠY NGÔN NGỮ VÀ VĂN HÓA NHẬT BẢN



NXB ĐẠI HỌC HUẾ



JAPAN FOUNDATION
国際交流基金

フエ大学外国語大学
TRƯỜNG ĐẠI HỌC NGOẠI NGỮ, ĐẠI HỌC HUẾ

国際交流基金
QUỸ GIAO LƯU QUỐC TẾ

NHIỀU TÁC GIẢ

論文集

国際シンポジウム

「世界とのつながりの中で考える日本語の未来：可能性・課題・戦略」

KỶ YẾU

HỘI THẢO QUỐC TẾ CHUYÊN NGÀNH GIẢNG DẠY NGÔN NGỮ
VÀ VĂN HÓA NHẬT BẢN

(BẢN MẪU)



NHÀ XUẤT BẢN ĐẠI HỌC HUẾ

DMI Huế



ISBN: 978-632-627-289-5



Sách không bán



JAPAN FOUNDATION
国際交流基金

フエ大学外国語大学

TRƯỜNG ĐẠI HỌC NGOẠI NGỮ, ĐẠI HỌC HUẾ

国際交流基金

QUỸ GIAO LƯU QUỐC TẾ

NHIỀU TÁC GIẢ

論文集

国際シンポジウム

「世界とのつながりの中で考える日本語の未来 :

可能性・課題・戦略」

KỶ YẾU

**HỘI THẢO QUỐC TẾ CHUYÊN NGÀNH GIẢNG DẠY
NGÔN NGỮ VÀ VĂN HÓA NHẬT BẢN**

NHÀ XUẤT BẢN ĐẠI HỌC HUẾ

Huế, 2026

Biên mục trên xuất bản phẩm của Thư viện Quốc gia Việt Nam

Kỷ yếu Hội thảo quốc tế chuyên ngành giảng dạy ngôn ngữ và văn hóa Nhật Bản =国際シンポジウム「世界とのつながりの中で考える日本語の未来：可能性・課題・戦略」 / Le Cam Nhung, Pham Thi Tham, Nguyen Kim Thu... - Huế : Đại học Huế, 2026. - 296 tr. ; 27 cm

ĐTTS ghi: Trường Đại học Ngoại ngữ, Đại học Huế; Quỹ Giao lưu Quốc tế Nhật Bản. - Thư mục cuối mỗi bài

1. Tiếng Nhật 2. Phương pháp giảng dạy 3. Kỷ yếu hội thảo
495.680071 - dc23

DUM1101p-CIP

Mã số sách: NC/54-2026

目次／MỤC LỤC

I. 主催者挨拶 ／ Diễn văn khai mạc Hội thảo

フエ大学外国語大学 学長 ファム・ティ・ホン・ニユン

国際交流基金ベトナム日本文化交流センター所長 吉岡憲彦

II. 基調講演 ／ Báo cáo đề dẫn

No.	内容／Nội dung	発表者/ Người trình bày	ページ /Trang
1	ベトナム語話者の日本語接続詞の習得過程 —日本語学習者縦断作文コーパス W-CoLeJa を用いた分析—	石黒 圭 (国立国語研究所)	18
2	異文化間語用論の可能性	小野正樹 (筑波大学)	30

III. 研究発表 ／ Báo cáo tiểu ban

No.	内容／Nội dung	発表者/ Người trình bày	ページ /Trang
1	連携性のある日本語教育カリキュラム実施の必要性と課題 —日越大学における日本語既習者への対応からの考察—	LE Cam Nhung PHAM Thi Tham (日越大学)	38
2	視覚障害者のための初級 (A1) 日本語能力評価試験に関する研究 —ハノイ大学日本語学部を事例として—	NGUYEN Kim Thu (ハノイ大学)	46
3	楽しい日本文学授業 —社会的な側面も育むアクティブラーニング活動への調査から—	NGUYEN Thi Hong Ngoc (ダナン大学外国語大学)	55
4	日本語—ベトナム語逐次通訳の授業における学生のピア・フィードバック認識の変容：内省シートに基づくプロセス研究	NGUYEN Song Lan Anh (ハノイ大学)	67
5	ベトナム小学生における日本語教育の関係 —アクセント指導を通じたコミュニケーション能力の育成—	NGO Thi Kieu Nga (国際交流基金・在ベトナム日本文化交流センター)	77
6	現代日本の文化におけるソフトパワー：マンガ『ONE PIECE』のグローバル文化交流および言語学習動機付けにおける役割	VU Viet Nghia VU Minh Hieu (ハノイ国家大学)	88

7	ベトナムの日本語教育における「語用文化」指導の課題と展望 — 言語文化統合型アプローチの視点から —	VU Minh Hien (ハノイ大学)	99
8	ベトナム人日本語学習者における AI ツール使用に関するアンケート調査 — 日本語授業における AI 活用と学習者の自律性との両立を目指して —	HOANG Thi Lan Nhi (フエ大学外国語大学) DO Bich Ngoc (九州大学大学院)	104
9	日本文学科目における PBL と Canvas (LMS) の実践 — デジタル技術を用いた学習意欲向上 —	THAM Thuy Hong (フェニカ大学)	115
10	中級日本語聴解教育における ChatGPT の活用 — Bruce Joyce & Marsha Weil の教育モデルによるアプローチ —	DU Thoai Tu (ダナン大学外国語大学)	127
11	2 人、2 年間で、2 か国語 : 理解可能なインプットによる言語習得に関する研究	BUSHNELL Cade (筑波大学) NGUYEN Xuan Nguyen Hanh (フエ大学外国語大学)	138
12	カナ文字の指導・学習における反転授業法の活用と学習ストラテジー	NGUYEN Huyen Ngoc NGUYEN Thi Ha (東アジア工科大学)	152
13	日本語学部 2 年生のライティング実践における AI を活用した言語支援ツールの利用の利点と課題	NGUYEN Khanh Chi (ハノイ大学)	164
14	日越逐次通訳教育における生教材の活用	LUONG Hai Yen (ハノイ大学)	174
15	オンライン日本語コメントの言語的な特徴 - 文末表現を中心に -	TRUONG Thi Mai (フェニカ大学)	186
16	日本語自然会話における共同的発話現象の一類型としての「引き継ぎ」 — 「割り込み」との比較 —	NGUYEN Thi Ha (東アジア工科大学)	197
17	日本語とベトナム語における「言いさし」の対照語用論的研究	NGUYEN Doan Quang Anh (ヴァン・ラン大学)	209

18	「ごはん」の語用と認識—母語話者とベトナム学習者の比較調査	LE Thi Hong Van (フエ大学外国語大学) UTSUNOMIYA Yuka (学習院女子大学)	222
19	日本語とベトナム語における植物の単語を含む慣用句の象徴的意味に表れる文化・思考的特徴の対照	DO Phuong Anh (ハノイ大学)	229
20	フエ大学外国語大学日本語日本文化学部の学生における漢字の筆順に関する認識	LAI Huyen Ton Nu Khanh Quynh NGUYEN Thi Huong Tra (フエ大学外国語大学)	238
21	フエ大学外国語大学日本語日本文化学部の学生における相槌使用の課題と指導への示唆	DUONG Thao Vy TRINH Tran Ngoc Khanh (フエ大学外国語大学)	247
22	日本語とベトナム語における人称代名詞の表現の対照研究統合と発展のための理解	VU Thuy Nga (ダイナム大学)	257
23	フェニカ大学日本語学部二年生の日本語読解能力に関する調査	LE Ha Phuong (フェニカ大学)	267
24	現代日本語における「X々」型畳語について—ベトナム語との対照—	PHAN Gia Nhat (フエ大学外国語大学)	275
25	ビジネス日本語授業における共修学習の可能性	NGUYEN Thi Huong Tra DAO Thi Thuy Nhi NGUYEN Thi Vinh Tu (フエ大学外国語大学)	288

現代日本語における「X々」型畳語について

ーベトナム語との対照ー

PHAN Gia Nhat

フエ大学外国語大学

要旨

本研究は、現代日本語の「X々」型畳語とベトナム語の「XX」型畳語を対象とし、構成・意味・文法機能の三側面から対照的に考察することを目的とする。先行研究を整理した上で、日本語については『現代日本語書き言葉均衡コーパス（BCCWJ）』から 132 語、ベトナム語については畳語辞典から 82 語の用例を収集し、分析を行った。その結果、両言語には名詞・形容詞・副詞畳語が共通して見られる一方、動詞畳語はベトナム語に多く、日本語では限定的であることが明らかになった。意味面では、日本語は複数性・個別性・反復・強調を主に表すのに対し、ベトナム語は強調や弱化、度合など多様な意味を担う。文法機能については、両言語とも畳語は主に述語・修飾語として用いられ、主語となり得るのは名詞畳語に限られる。本研究の成果は、日越対照言語学に有益な示唆を与えるとともに、日本語教育およびベトナム語教育研究への貢献が期待される。

キーワード: 現代日本語、ベトナム語、「X々」型畳語、「XX」型畳語、日越対照言語学

Abstract

This research examines the “X々” type of reduplication in contemporary Japanese and the “XX” type of reduplication in Vietnamese from the perspectives of structure, meaning, and grammatical function. Based on a review of previous research, 132 Japanese examples were collected from the Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese (BCCWJ), and 82 Vietnamese examples were extracted from a dictionary of Vietnamese reduplication. The analysis shows that both languages share noun, adjective, and adverbial reduplication, whereas verbal reduplication is frequent in Vietnamese but limited in Japanese. Semantically, Japanese reduplication mainly expresses plurality, individuality, repetition, and emphasis, while Vietnamese reduplication conveys a wider range of meanings, including emphasis, attenuation, and degree. In terms of grammatical function, reduplicated forms in both languages commonly function as predicates and modifiers, and only nominal reduplication can serve as subjects. These findings provide useful insights for contrastive linguistics and contribute to Japanese and Vietnamese language education studies contexts.

Keywords: Contemporary Japanese, Vietnamese, “X々” type, “XX” type, contrastive linguistics

1. はじめに

1.1. 研究の背景

畳語は言葉の意味を彩る言語現象である。さらに、畳語を正確に使うと言葉が生き生きとするだけでなく、理解もし易くなる。畳語は日本語に限らず、世界の様々な言語に存在する現象として認められる。ベトナム語において、畳語も重要な言語現象の一つとして認められ、話し言葉でも書き言葉でもよく用いられる。その内、日本語における「X々」型畳語とベトナム語における「XX」型畳語はかなり多く存在する。しかし、日本語とベトナム語はそれぞれの構成・意味・文法機能に関し、共通点とともに相違点も多く見られ、ベトナム人日本語学習者も日本人ベトナム語学習者もこのような相違点を把握しないと正確に使えないと思われる。より包括的な日本語の「X々」型畳語の研究とベトナム語の「XX」型畳語についての研究が求めら

れ、その上で日越両国語の対照研究をする必要があると考える。なお、ベトナム語と同様、日本語の擬音語・擬態語にも畳語の形が多く見られる。しかし、同じ形式が単に繰り返されるだけで畳語とは認定できないという点から、本研究では研究対象には含めないことにする。

1.2. 研究の目的

このような背景から、本研究は両言語を考察し、以下の2つの側面を明らかにする。

日本語の「X々」型畳語とベトナム語の「XX」型畳語の構成の側面から見て、それぞれの畳語の特徴を明確にする。

比較することで日本語の「X々」型畳語とベトナム語の「XX」型畳語の相違点を探る。

2. 研究の方法とデータ収集

2.1. 研究方法

研究方法として先行研究を参考にしながら以下のように進める。

まずは、両言語の畳語の概念、問題となりうる論点を整理し、まだ検討されていない課題を概観する。次に、先行研究と照らし合わせながら、両言語の用例を集め、考察する。最後に、日本語をベトナム語と比較して、相違点を探る。

2.2. データ収集

具体的には日本語の場合は『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（BCCWJ）の検索システム『中納言』において短単位検索、長単位検索、文字列検索3つの検索機能を使用し、「X々」型の構成を条件に設定し、検索する。そして、「X々しい」「X々と／に」の構成形式をとっている畳語も考察対象とし、132語を抽出した。

ベトナム語の場合は、信頼性が高い出版社の『Từ điển từ láy Tiếng Việt』（ベトナム語の畳語辞典）を用いる。この大辞典は1950年代からの文章に現れる用例を集め、1995年に初出版された。ベトナム語には「XX」型をとる擬音語・擬態語が多いので、本研究では現代ベトナム語の書き言葉を擬音語・擬態語以外という条件に設定し、70年代からの文章から「XX」型をとる畳語を82語抽出し、各品詞にわけ、リストを作る。

3. 考察結果

3.1. 日本語における「X々」型畳語の構成

3.1.1. 畳語の定義と分類

3.1.1.1. 畳語の定義

畳語の定義については様々ある。

田村（1991、2006）の研究で掲載された玉村（1988）の定義によると、畳語は、合成語のうち同じ形態素や語基や語を重ねて一語としたもので（^{注1}）、＜名詞＞＜動詞＞＜形容詞＞＜副詞＞のいずれにも多く見られる言語現象である。

石川（2017）は同一の文字・語根・語を重ねる語群を畳語と呼ぶ。『広辞苑』第五版（岩波書店）の定義より、畳語とは同一の単語または語根を重ねて1語とした語。「我々」「くろぐ

ろ」「ひらひら」の類のように説明されるものである。その内、玉村（1988）の定義はベトナム語の畳語の定義に近いので、今回の研究は、田村の定義に基づいて研究を進めていくことにした。

3.1.1.2. 畳語の分類

単語の構成からみれば、畳語は2種類あり、次のようにわけることができる。

- ・同じ単語の反復形（或いは重複形）のものを畳語の同語反復語と呼ぶ。

例：「人々」「年々」「山々」「国々」「面々」「日々」「半々」...

- ・語幹要素の一部または全部を重複するものを畳語の部分的反復語と呼ぶ。

例：「深々しい」「生々しい」「空々しい」「長々と」「寒々と」...

3.1.2. 「X々」型畳語の構成

語基の品詞から見ると、「X々」型畳語の語基である「X」の品詞は名詞或いは形容詞、動詞、副詞であるものがあり、バリエーションが豊かである。

日本語の畳語の構成については反復される語基の品詞、語基の同一性、モーラ数、後接構成などがあるが、「X々」型畳語の構成では反復される語基の品詞、語基の同一性が非常に多く見られる。

3.1.2.1. 「X々」型畳語名詞

- ・畳語名詞の定義

「X々」型畳語名詞とは「X」名詞に「々」をつけることで畳語化されたものである。本節ではBCCWJから抽出した「X々」型畳語名詞を抜き出す。

「面々」「村々」「道々」「口々」「声々」「手々」「家々」「木々」「方々」「神々」「町々」「我々」「年々」「月々」等

- ・畳語名詞の構成

上に見たように、畳語化された派生元である「X」は数概念と関わる名詞・代名詞であることがわかった。しかし、どの名詞・代名詞でも「X々」型畳語になるわけではない。BCCWJで検索してみたところ、畳語名詞の形については「人々」「国々」「山々」とは言えても、「犬々」「県々」「川々」とは言えないというような使用偏向があることがわかった。これはなぜなのだろうか。

玉村（1986）は没個性的にしか意識されないもの、或いは集合的にしか意識されないもの、或いは無限数的であると意識されるものは畳語になりにくいと指摘している。従って、「猫」「虫」「牛」「魚」「石」「砂」などには「猫々」「虫々」「牛々」「魚々」「石々」「砂々」のような畳語形が存在しないことになる。

飯田寿子氏は体例を示して、次のような説明を出している。

（ア）「人々」「皆々」「各々」「神々」等のような人間、或いはより尊いものであれば畳語形が存在する。「犬々」「猫々」「鳥々」「魚々」「虫々」等には畳語形が存在しない。

（イ）「山々」「峰々」「段々」等のような連なっている大きなものであれば畳語形が作れる。

(ウ)「家々」「村々」「木々」「品々」「端々」等のようなまとまって複数を表すものであれば畳語形になりやすい。

しかし、飯田寿子の説明で解決できないものも残っている。それは(イ)において、連なっている大きなものを表すもののなのに、なぜ「雲々」「谷々」とは言わないだろうか。そして、(ウ)においては、「県々」「葉々」のようなまとまって複数を表すものはなぜ言わないのだろうか。

確かにこうした具体例を見てみると、使用対象となりうる名詞にかなりの偏りがあることは比較的に感じられるが、なぜそうなるのかということの理論的な説明は簡単ではない。なお、玉村に反対し、飯田寿子は「町々」「花々」「物々」「中々」などと言わないことを研究結果で述べている。実際、BCCWJで検索すると「町々」「花々」「物々」「中々」が入っている文章が出てきた。一方、梅林(2005)は「歌々」を取り挙げて、日本語で「X々」型畳語名詞が言えたり言えなかったりするの程度問題にあると指摘している。すなわち、どのような程度が発生すると使用の不可能や違和感が生じるのかという問題である。実際に観察してみたら、「歌々」が一般的にあまり使われない表現であるにも関わらず、日本語文学の分野ではよく用いられていることがわかる。また、梅林は「猫々」の作例で話し手の内の対象識別能力も一つの要因となりうると述べている。例えば、猫屋敷と言われるような場所で数十匹の猫が餌に群がっていた場合、猫に詳しい専門家ならば「猫々」を使い、素人ならば「猫」の畳語形を使わないといったことである。

つまり、どんな名詞が使用対象になりうるかという問題は専門家の間でもまだ議論されていると言える。

例えば、「雲々」「森々」等については玉村(1986)に基づいて説明できる。

「雲」「森」というと、すぐ「物の集まり」をイメージする傾向がある。具体的に、空にいつも多数の雲が浮かんでいる。同様に、森には様々な木(雑木)が集まり並んでいる。つまり、「雲」「森」はそもそも複数的と認識されるものなので、「雲々」「森々」のような形を用いないと解釈可能である。次に、「猫々」の場合は飯田朝子氏は人間より尊いものではないので「猫々」が存在しないと指摘している。しかし、猫の島で猫が「神様」として人間より尊敬されているところは日本にも多くある。そうであれば、飯田朝子氏の論点に反論がでることも予想される。

そこで、新奇な畳語名詞に出会うと、その表現が本当におかしいかどうかという判断は文脈、程度の問題だけではなく、その地域の文化の観点も検討する必要があると考えられる。

3.1.2.2. 「X々」型畳語形容詞

・畳語形容詞の定義：畳語形容詞とは、同一語基を重ねたものに接辞「-しい」が付加されたものである。上の定義に従うと、「X々」型畳語形容詞とは「痛々しい」「毒々しい」のように「X々」の後ろに「-しい」などを付け加えることによって形容詞として形成することである。

本節でBCCWJから抽出した「X々」型畳語形容詞を抜き出す。

「荒々しい」 「忌々しい」 「雄々しい」 「軽々しい」 「白々しい」
「騒々しい」 「古々しい」 「生々しい」 「若々しい」 「美々しい」 等

・ 畳語形容詞の構成：日本語の畳語形容詞には、例えば「雄々しい」のように、「しい」の前に反復された「X々」のうちに、畳語形を伴う派生語である自立語として認識される「X」がある。

「X々」型畳語形容詞の構成について、語基の品詞タイプに基づいて、次のように分類できる。

ア. 語基が名詞であるもの

「物々しい」（物） 「角々しい」（角） 「福々しい」（福）等

イ. 語基が形容詞であるもの

「弱々しい」（弱い） 「憎々しい」（憎い） 「寒々しい」（寒い）等

ウ. 語基が動詞であるもの

「忌々しい」（忌む） 「賑々しい」（賑わう） 等

つまり、「X々」型畳語形容詞は名詞である語基を重ねたもの、形容詞である語基を重ねたもの、動詞である語基を重ねたもの等がある。そのうち、数的には動詞によるものはあまり多くないようである。

3.1.2.3. 「X々」型畳語動詞

・ 畳語動詞の定義：畳語動詞とは「消え消え」「泣く泣く」のような動詞の連用形を重ねたものである。そのうち、「X々」型畳語動詞は「X」語基の後ろに反復記号である「々」を付けて、「青々」「清々」のように記載されたものである。

・ 畳語動詞の構成：石川（2017）の研究により、「X々」型畳語には名詞を反復したものが最も多く占めることが明らかになっている。また、語基の品詞タイプ比率では名詞＞形容詞＞副詞＞動詞となることも分かっている。従って、数的には「X々」型畳語動詞はすごく少ないと言える。「青々する」「清々する」のようなもの以外、動詞としての役割を持つ「X々」型畳語動詞はほとんど存在しないとも言える。

（1）きょうの空は青々して眩しくて一点の雲もなくて、秋らしくなりましたこと。これから少しは秋らしく爽やかになるでしょうか。

宮本百合子『獄中への手紙』

（2）余リアルが物を言わないと彼はケンを施設に入れて清々しているのだろうかとかと勘繰って一人腹を立てたこともあった。一体ケンは今頃何をしているのだろうか。

米谷ふみ子『過越しの祭』

3.1.2.4. 「X々」型畳語副詞

・ 型畳語副詞の定義：畳語副詞は同一成分の重複によって構成されたものである。

・ 型畳語副詞の構成：畳語副詞の成分のなかには副詞だけでなく、他品詞のものも数多く存在すると予想される。畳語副詞の成分として、次のようになる。

ア. 名詞成分：「色々」「度々」「時々」「元々」等

イ. 動詞成分：「満々」「刻々」「悠々」「延々」等

ウ. 形容詞成分：「黒々」「近々」「長々」「広々」等

エ. 副詞成分：「次々」「別々」「徐々」「更々」等

副詞は「と」や「に」を伴うことがある。このような場合は、と（に）も含めて 1 つの副詞になる。

(3) 水が満々とたたえられるのを見れば、わたしはうれしい気持ちになるだろう。それまでアミに何もおこらないことを願う。

ラヴクラフト全集 4『01「宇宙からの色」』

(4) 次々にこういろんなのにやって来られては息をつくこともできやしない。用があるならサッサといって手取早くひき取って貰おう。

久生十蘭『魔都』

但し、いつも「X々」型畳語副詞に「と」や「に」をつけることができるわけではない。それは語基「X」の品詞と意味による傾向がある。

◎ 「と」が必要なものは主に形容詞成分の畳語副詞が多い。

例：「長々と」「深々と」「寒々と」「生々と」等

(5) 黙ったままの沙恵のほうをちらりと見ると、美希は、そっと猫を撫で始めた。すっかり安心しきった猫が寝返りを打ち、長々と伸びて白い腹を見せる。

村山由佳『星々の舟』

◎ 「と」が任意するものは主に名詞成分・動詞成分・副詞成分の畳語副詞が多い。

例：「色々（と）」「刻々（と）」「段々（と）」等

(6) そしてあたりの商店でもなんでも段々と自然によくなって行くからね。だから土地の繁栄策としては、どうしても縁日というものが必要なんだね。

加能作次郎『早稲田神楽坂』

◎ 「と」が付けられないものは主に時間や頻度を表す名詞成分の畳語副詞が多い。

例：「元々」「時々」「度々」等

(7) それも間に合う一番早い時間の汽車で帰ろうとするのである。故郷はそれ程までにいいものだろうか、時々不思議になることがある。成程郷里の平壤には愛する老母が殆んど独りきりで侘住居している。

金史良『故郷を想う』

◎ 「に」が付くものは主に「と」が付けられないもの以外の名詞成分・副詞成分の畳語副詞が多い。とりわけ、「ナ形容詞」連用形の形を取る畳語副詞に「に」が付けられると想像できる。

例：「色々な／に」「様々な／に」「別々な／に」等

(8) 眼を開いて本棚を見渡すと書物がぎっしり詰っている。その書物が一々違った色をしてそうしてことごとく別々な名を持っている。煩わしい事夥しい。

夏目漱石『満韓ところどころ』

3.2. ベトナム語における「XX」型畳語の構成

3.2.1. 畳語の定義と分類

3.2.1.1. 畳語の定義

ベトナム人言語学者である DINH TRONG LAC の『99 Phương tiện và Biện pháp TU TỪ TIẾNG VIỆT（ベトナム語 99 の修辞法）』ではベトナム語の畳語は次のように定義されている。

Từ láy là những từ được cấu tạo bằng cách nhân đôi tiếng gốc theo những quy tắc nhất định, sao cho quan hệ giữa các tiếng trong từ vừa điệp, vừa đối, vừa hài hòa với nhau về âm và về nghĩa, có giá trị tượng trưng hóa. (注³)

「ベトナム語の畳語とは、語基を重ねることで構成されたものであり、一単語としての音声及び意味的に調和性を確保し、象徴機能をするものである。」

3.2.1.2. 畳語の分類

日本語と同様、単語の構成から見るとベトナム語の畳語は次のように大きく分けられていることが分かる。ベトナム語の畳語は基本的に同語反復形の畳語と部分的反復形の畳語の 2 種類ある。

- ・ 同語反復形の畳語とは母音、子音、声調まですべて繰り返されたものである。

例：「xanh xanh」（青い） 「luôn luôn」（常に） 「ào ào」（どんどん降る、せっかち）

青い 青い いつも いつも もの凄く強く、速い
「xa xa」（かなり遠い、遠く） 「khum khum」（腰を折り曲げた姿勢） 等
遠い 遠い 腰を折り曲げる

また、調和のとれた音を作り出すために、6 つある声調「() (´) (˘) (ˆ) (˙) (ˋ)」や尾子音を変化する畳語もある。

例：「thoang thoảng」（ほのかな香りがする）→（ ）が(˙)に変化する

無意味 ざっと、軽い感じ

「ngoan ngoãn」（素直） →（ ）が(˘)に変化する

素直 無意味

「thẳm thẳm」（きわめて遠い、きわめて深い） →（ ）が(ˋ)に変化する

無意味 深すぎる

「ngồn ngộn」（高く、大きい）→（ ´ ）が(˙)に変化する 等

無意味 無意味

- ・ 部分的反復形の畳語とは子音か母音が繰り返されたものである。

例：「ngor ngẳn」（ぼんやりする）, 「lác đác」（ばらばら）, 「chênh vênh」（不安定）

ぼんやりする 無意味

無意味 無意味

バランスがない 無意味

声調は使用者の意図に応じて類似または異なる場合がある。

例：「da dẻ」（肌） 「dào dạt」（溢れていて止まらない） 「kháu khỉnh」（可愛い）等

肌 無意味

無意味 片方に引かれる

可愛い 無意味

ベトナム語の定義で示したように、畳語は象徴的に機能するので、非畳語形と部分的反復形畳語の違いは表す対象にある。例えば、身体の一部位を単純に表す「da」は「da（肌）」の調子、外見を描写する際に用いられる「da dẻ」とは異なる。それに従って、ベトナム語では

「Người khỏe mạnh nên da dẻ hồng hào（元気があるから肌の調子が良くなる）」*

人 元気 強い そこで 肌の調子 ピンク

なお、同語反復形の畳語より部分的反復形の畳語の方が混合しやすいため、頻繁に使用される。

* ベトナム語の畳語辞典、p.72.

3.2.2. 「XX」型畳語の構成

ベトナム語の畳語は同語反復形の畳語と部分的反復形の畳語の 2 つがあるが、日本語の「X々」型畳語に対応するものはベトナム語の同語反復形の畳語（「XX」型畳語）のみである。ベトナム語の「XX」型畳語は畳語名詞、畳語形容詞、畳語動詞、畳語副詞であるものがある。反復される語基の品詞に基づいて、各種の畳語の構成については次のように分析していく。

3.2.2.1. 「XX」型畳語名詞

「X」名詞「々」をつけることで畳語化された日本語の「X々」型畳語名詞と違い、ベトナム語の「XX」型畳語名詞は「X」を反復されたものである。本節で『Từ điển từ láy tiếng Việt』（『ベトナム語の畳語大辞典』）「XX」型畳語名詞を抜き出す。

例：「ai ai」（全員） 「ba ba」（スッポン） 「noi noi」（何処でも）
「ngày ngày」（毎日） 「đa đa」（野鳥の一種類） 「vò vò」（ススメバチ） 等

上に述べたように、畳語化された「X」は名詞・代名詞・固有名詞に限らず、形容詞、動詞であるものもあることが分かった。

畳語名詞の成分として次のようになる。

ア. 名詞・代名詞・固有名詞成分であるもの

「 <u>ve</u> ve」（蝉）	「 <u>đa</u> đa」（野鳥の一種類）	「 <u>le</u> le」（カモ）
蝉	木／鳥の一種類	鳥の一種類
「 <u>noi</u> noi」（何処でも）	「 <u>ai</u> ai」（全員）	「 <u>ba</u> ba」（スッポン） 等
場所	誰	父親／数字の「3」

イ. 形容詞成分であるもの

「choi choi」（小さい鳥）
動きすぎ

ウ. 動詞成分であるもの

「 <u>cào</u> cào」（稲子）	「 <u>chôm</u> chôm」（ランブータン）	「 <u>chuốc</u> chuốc」（鳥の一種類）
ひっかく	取る／盗む	招く／注ぐ

その内、数的には名詞・代名詞・固有名詞成分の畳語名詞は圧倒的であることが明確に見られる。

3.2.2.2. 「XX」型畳語形容詞

ベトナム語における同語反復形の畳語の定義に従うと、「XX」型畳語形容詞は同一語基「X」を重ねることによって形容詞として形成できるものである。

『Từ điển từ láy tiếng Việt』（『ベトナム語の畳語辞典』）から抽出した「XX」型畳語形容詞は次のようなものがある。

例：「bơ bơ」（持ちっぱなし、手放さない、しつこい、頑固）
手放さない

「chung chung」（具体的ではない、漠然とした） 「tê tê」（ちょっとしびれる）

一般

しびれる

「xinh xinh」 (ちょっと美しい、可愛い) 「êm êm」 (安定している、落ち着いた) 等

美しい

フワフワする

「XX」型畳語形容詞の構成については、語基「X」の品詞タイプに基づいて、次のように分類できる。

ア. 形容詞成分であるもの

「cay cay」 (ちょっと辛い)

辛い

「gàn gàn」 (狂おしい、ちょっと頭がおかしい)

狂おしい

「mờ mờ」 (ぼやける、半透明な)

はっきり見えない

「kênh kênh」 (膨らんでかさばる気がする。)

かさばる

イ. 動詞成分であるもの

「nhằm nhằm」

注意深く

「chăm chăm」 (非常に注意深い) 等

注意深く／一所懸命

ウ. 名詞成分であるもの

「sàn sàn」 (ほぼ同じレベルにある) 等

床、レベル

エ. 副詞成分であるもの

「vừa vừa」 (程好い、ちょうど良い程度) 等

丁度良い

オ. 品詞不確定成分であるもの

「hao hao」 「ná ná」 (よく似ている)

「sòn sòn」 (中年よりちょっと上の) 等

上の分析で述べたように、「XX」型畳語形容詞のバリエーションが豊かであり、数的にはわずかであるが、名詞成分・動詞成分・副詞成分・品詞不確定から形成される畳語形容詞もあることが分かった。

3.2.2.3. 「XX」型畳語動詞

『Từ điển từ láy tiếng Việt』(『ベトナム語の畳語辞典』)から抽出した「XX」型畳動詞を分析し、「XX」型畳動詞の語基の品詞は動詞であるものだけにより形成できることが分かった。

例: 「chần chần」 (何度も注意する) 「ém ém」 (隠すために、違うもので覆う)

注意する

隠す

「nhè nhè」 (泣きやまない、泣きっぱなし) 等

泣く

3.2.2.4. 「XX」型畳語副詞

『ベトナム語の畳語辞典』から抽出した「XX」型畳副詞から見れば成分のなかには副詞だけでなく、名詞、形容詞のものも存在すると言える。「XX」型畳副詞の成分については次のようになる。

ア. 副詞成分であるもの

「lắm lắm」 (数えられないほど数多く、非常に)

とても

「luôn luôn」 (いつも、よく)

いつも／常に

「thường thường」 (通常)

普段

「mãi mãi」 (延々と) 等

非常に長く続く

イ. 名詞成分であるもの

「chốc chốc」 (何度も)
時を表す

ウ. 形容詞成分であるもの

「lâu lâu」 (たまに)
久しぶり／時間が長い

エ. 品詞不確定であるもの

「sung sung」 (ここにはないものについて気なく言っている)

本節で「XX」型畳語の構成の分析を行った。分析結果により、ベトナム語における「XX」型畳語の内、畳語名詞が一番多く存在することが明確になる。また、語基の品詞タイプ比率では名詞＞形容詞＞動詞＞副詞であることも分かった。

4. 日本語における「X々」型畳語とベトナム語における「XX」型畳語の構成の対照

4.1. 畳語名詞の構成

両言語における畳語名詞の考察結果より、日本語における「X々」型畳語名詞とベトナム語における「XX」型畳語名詞の構成についての相違点は次の表になる。

畳語名詞	日本語「X々」型	ベトナム語「XX」型
形成	語基「X」に「々」をつける 例：「日々」「木々」「家々」「神々」等	同一語基「X」を重ねる 例：「ba ba」「noi noi」等
語基の品詞	名詞 例：「星々」「村々」「町々」「道々」等	名詞・代名詞・固有名詞 例：「ngày ngày」「ai ai」「ve ve」等
		形容詞 例：「choi choi」等
		動詞 例：「cào cào」等
濁音	生じる 例：「花々」(はなばな) 「国々」(くにぐに)	なし

両言語における畳語名詞はいずれも数概念と関わるものであると言える。しかし、語基の品詞については名詞・代名詞のみに限られた日本語の「X々」型畳語名詞と違い、ベトナム語の「XX」型畳語名詞は名詞成分のみならず、形容詞成分、動詞成分のものも存在することが分かってきた。

また、日本語の「X々」型畳語名詞には濁音が生じる場合もあるが、ベトナム語の「XX」型畳語名詞は見られない。

4.2. 畳語形容詞の構成

両言語における畳語形容詞の考察結果より、日本語における「X々」型畳語形容詞とベトナム語における「XX」型畳語形容詞の構成についての相違点は次の表になる。

畳語形容詞	日本語「X々」型	ベトナム語「XX」型
形成	「X々」に「しい」等をつける 例：「生々 <u>しい</u> 」「物々 <u>しい</u> 」等	同一語基「X」を重ねる 「êm êm」「nhí nhí」等
語基の品詞	形容詞・名詞・動詞 例：「弱々しい」「毒々しい」 「賑々しい」等	形容詞・名詞・動詞 副詞・品詞不確定 例：「cay cay」（辛い） 「sàn sàn」（ほぼ等しい） 「nhăm nhăm」（注意深い） 「vừa vừa」（丁度良い程度） 「ná ná」（よく似ている）等
濁音	生じる 例：「寒々しい」（さむざむしい） 「空々しい」（そらぞらしい）等	なし

日本語では「X々」型畳語形容詞には接辞「ーしい」が付加されたものである。一方、ベトナム語では同一語基「X」を重ねることだけで畳語化されたものになる。

語基の品詞については、日本語の「X々」型畳語形容詞は形容詞成分、名詞成分、動詞成分のものが一般的である。ベトナム語の「XX」型畳語形容詞は副詞成分、品詞成分不確定のものもある。

また、日本語の「X々」型畳語形容詞には濁音が生じる場合もあるが、ベトナム語の「XX」型畳語形容詞には見られない。

4.3. 畳語動詞の構成

両言語における畳語動詞の考察結果より、日本語における「X々」型畳語動詞とベトナム語における「XX」型畳語動詞の構成についての相違点は次の表になる。

日本語の「X々」型畳語動詞もベトナム語の「XX」型畳語動詞も動詞成分で形成できたものであるが、語基の品詞タイプ比率からみれば、日本語では名詞＞形容詞＞副詞＞動詞となることである。言い換えれば、数的には動詞成分の「X々」型畳語動詞は一番少ないと考えられる。一方、ベトナム語では名詞＞形容詞＞動詞＞副詞であり、動詞成分の「XX」型畳語動詞は名詞と形容詞に次ぎ3番目であることが分かった。

4.4. 畳語副詞の構成

両言語における畳語副詞の考察結果より、日本語における「X々」型畳語副詞ベトナム語における「XX」型畳語副詞構成について相違点は次の表になる。

畳語副詞	日本語「X々」型	ベトナム語「XX」型
形成	「X」語基に「々」をつける 例：「次々（に）」「近々（と）」等	同一語基「X」を重ねる 例：「thường thường」「luôn luôn」等

語基の 品詞	副詞・名詞・形容詞・動詞 例：「徐々」「色々」「長々」「延々」等	副詞・名詞・形容詞 品詞不確定 例：「lắm lắm」（非常に） 「chốc chốc」〈何回も繰り返す〉 「lâu lâu」（たまに） 「sung sung」 （ここにはないものについて何気なく言っている）等
濁音	生じる 例：「時々」（ときどき）「黒々」（くろぐろ）等	なし

上記の表により、両言語の畳語副詞には副詞成分、名詞成分、形容詞成分のものが存在することが明らかになった。それ以外には、日本語では動詞成分、ベトナム語では品詞成分不確定のものもあるとも言える。また、日本語の「X々」型畳語副詞は「広々と」「別々に」のような「と」や「に」に伴うものが多い。

5. まとめ

本研究では先行研究を踏まえつつ、辞書とコーパスを用い、日本語における「X々」型畳語とベトナム語における「XX」型畳語の構成についての考察を行った。考察で明らかになったことは次のようにまとめられる。

両言語における畳語の語基の品詞に基づいて分析した結果、両言語にそれぞれ名詞畳語、形容詞畳語、副詞畳語の外、動詞畳語が存在することが分かった。但し、日本語の動詞畳語は存在すると言っても数的には少ない。一方、ベトナム語の動詞畳語はかなり多く存在する。

また、ベトナム語の畳語の方が形成のバリエーションが豊富であると言える。

6. 今後の課題

今回の研究は日本語における「X々」型畳語とベトナム語における「XX」型畳語の構成・意味・文法機能であり、両言語の畳語の多くの基本的知見を明らかにしたが、それは畳語のごく一部にすぎず、更なる検証が必要な課題も残る。今後の研究では、上記の検証に加え、次の2点を踏まえ、更に深く対象を広げ、包括的に考察し、継続的に検討していきたい。

(1) 日本語の畳語は日本で作られた畳語と中国の漢語から作られた畳語との2種類存在するが、本研究ではこの区別をしていない。

(2) ベトナム語に関し、今回の研究では用例が少ないため、品詞成分不確定のものを十分に分析できなかった。

注

(注¹) 『日本文法大辞典』、p.325.

(注²) 『日本文法大辞典』、p.346.

(注³) 『99 Phương tiện và Biện pháp tu từ tiếng Việt』（ベトナム語 99 の修辞法）、p.33.

参考文献

- 石川慎一郎（2017）「X々型畳語の構造・使用・意味特性－「現代日本語書き言葉均衡コーパス」を用いた計量的調査－」『統計数理研究所共同研究レポート』373/374、pp.55-74.
- 飯田寿子（2005）「形容詞性構成要素からなる重複形容詞について－構成要素の特質をめぐって－」『国語学研究』44、pp.80-92.
- 梅林博人（2005）「畳語形の使用について－「歌々」を例にして－」『成城文芸』192、pp.37-47.
- 玉村文郎（1986）「古代における和語名詞の畳語について」『論集日本語研究（二）歴史編』明治書院、pp.220-238.
- 玉村文郎（1988）「複合語の意味」『日本語学』第7巻5号、pp.23-32.
- 田村泰男（1991）「現代日本語における畳語について-数概念からみた畳語-」『広島大学留学生センター紀要』1、pp.41-47.
- 田村泰男（2006）「現代日本語の複合形容詞・派生形容詞・畳語形容詞について」『広島大学留学生センター紀要』16、pp.13-20.
- Dinh Trong Lac (2005), *99 phương tiện và biện pháp tu từ tiếng Việt*（ベトナム語 99 の修辭法）、Giáo dục 出版社
- Phan Ngoc (2012), *Hình thái học trong từ láy Tiếng Việt*（ベトナム語における畳語の形態学）、Đại học Quốc gia Hà Nội 出版社

辞書

- 松村 明 (1971), 『日本文法大辞典』、明治書院
- Hoang Van Hanh 主編 (1998), *Từ điển từ láy Tiếng Việt*（ベトナム語の畳語辞典）、改訂版 2）、Khoa học xã hội 出版社
- Hoang Van Hanh 主編 (1998), *Từ điển từ láy Tiếng Việt*（ベトナム語の畳語辞典）、改訂版 3）、Văn hóa Sài Gòn 出版社
- Hoang Van Hanh 主編 (2003), *Từ điển từ láy Tiếng Việt*（ベトナム語の畳語辞典）、Từ điển bách khoa 出版社

<著者>

ファン ヤー ニャット PHAN Gia Nhat

修士 フェ大学外国語大学日本語日本文化学部講師

M.A, Faculty of Japanese Language and Culture

University of Foreign Languages and International Studies, Hue University

連絡先：pgnhat@hueuni.edu.vn

主な研究分野: 日本語教育

その他：対照言語学